

進路だより ~No.2~

弘前大学教育学部
附属特別支援学校
移行支援部

令和6年11月29日(金)

高等部

進路講話 ~ 先輩の話进行こう! ~

10月3日(火)、働く先輩から学ぶことをテーマにオンライン授業を実施しました。講師は関西にあるシャープ特選工業株式会社の担当者と特別支援学校を卒業した勤続10年の方です。仕事で大切にしていることや10年働いて感じたことなどを話していただき、将来の職業生活で必要となる力や態度、マナーについて学ぶことができました。生徒たちは、積極的に手を上げて質問をしたり、ワークシートに学んだことを記入したりと働くことへの意欲が高まりました。



(生徒からの質問)

Q.今から身に付けておいた方がよい力がありますか?

A.自分で健康管理ができるようになることと、働き続ける体力を身に付けておくことです。

Q.仕事に行くのが苦しくなったときの対処法を教えてください。

A.抱え込まず、すぐ担当者に相談することが大切です。



(ワークシートの自由記述より)

- 仕事では、体力やチームワークが必要であることがわかった。卒業までに力を伸ばしていきたい。
- 体調管理に気を付けて、毎日仕事に行くことが大事だと感じた。

同窓会

7月28日(日)に本校の第二体育館にて同窓会が行われました。同窓会は、本校の卒業生が会員となり、親睦を図ったり、情報交換したりする場です。今回ご紹介するのは、「夏のとみの会」です。当日は、48名(同伴者含)が参加し、学校職員との交流や近況報告、ダンスなどをしました。成人を迎えた同窓生を祝福するセレモニーも開催され、盛大な会となりました。



※プライバシー保護のため、画像を一部加工しています。

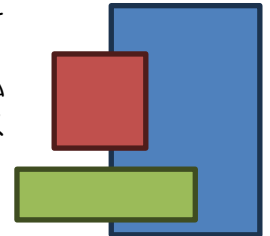
情報提供

在学中は、学校や相談支援事業所と情報交換を行っていますが、卒業後、「仕事に関する心配事や生活で困ったことなど、どこに相談したらいいのだろう・・・？」と心配になる方も多いのではないのでしょうか。

本校では、高等部になると、本人・保護者と一緒に「移行支援計画」を作成しており、卒業後の支援機関（市町村の障害福祉課や相談支援センター、障害者就業・生活支援センターなど）と連絡先をあらかじめ確認し、記載することとしています。事前に準備しておくことで、生活や仕事に関する相談、障害基礎年金の相談など、内容に応じて様々な機関の支援をスムーズに受けることができます。

先日行われた高等部の参観日で保護者を対象とした説明会を実施しました。弘前市障がい福祉課の担当者に来校いただき、卒業後の進路に関わる福祉サービスの種類と内容について講話していただきました。

今回はその中から「関係機関」について抜粋し、ご紹介します。



○市町村の窓口、民間の相談支援事業者・・・障害者相談支援事業

- ▶ 福祉サービスに関する情報提供や相談
- ▶ 社会生活能力を高めるための支援
- ▶ 同じような状況にある人同士による課題の解決（ピアカウンセリング）
- ▶ 権利擁護のために必要な援助
- ▶ 専門機関の紹介 など

※市町村によって業務の内容は異なります。

○ハローワーク・・・仕事に関する相談や仕事の紹介

- ▶ 障害者を対象とした求人の紹介
- ▶ 仕事の探し方や履歴書の書き方の説明
- ▶ 適職についてアドバイス
- ▶ 職業訓練できるところの案内
- ▶ 求人の応募に際し、配慮を必要とする内容を事業主に伝える
- ▶ 希望によっては、採用面接に同行する
- ▶ 就職が長続きするための支援

○障害者就業・生活支援センター・・・就労に関する様々な相談支援

- ▶ 職業準備訓練や職場実習の斡旋
- ▶ 求職活動への同行
- ▶ 事業主に対して、雇用した障害者の特性などを助言する
- ▶ 就労のための日常生活に関する支援（福祉サービスの活用や、医療機関などとの連絡調整、グループホーム居住支援など）
- ▶ 生活習慣、健康管理、金銭管理など自己管理に関する助言
- ▶ 雇用後の職場訪問や面談
- ▶ 雇用後の相談支援 など

○地域障害者職業センター・・・職業カウンセリングや職業評価

- ▶ 希望する職業に適応する能力などを評価し、職業リハビリテーション計画を立てる
- ▶ センター内で作業体験や職業準備講習、社会生活技能訓練を行い、能力の向上を図る
- ▶ 精神障がいのある人に対して、医療関係者と連携して専門的で総合的な支援を行う など